

CMSC香川 7月13~14日

'96CMSCダイヤスターラリー

中国、四国地方選手権第3戦として7月13~14日、'96CMSCダイヤスターラリーを開催しました。海外ラリーでも有名な田口盛一郎選手を含む56組が参加し、競技は5本のSSを含む160kmで行いました。

結果の方はB I で河村・重本組ミラージュ、B II で藤井・北峰組ミラージュ、Cで二野下・梶山組ランサーが(田口・原野組ランサーはSSはトップでしたがラリー区間で沈没)それぞれ優勝しました。

最後になりましたがラリーアートの須賀様、熱帯夜の中お疲れ様でした。(CMSC香川 白井 修)

気温も選手もヒートアップ



写真上、オフィシャル全員集合。下左より、河村・重本組、藤井・北峰組、二野下・梶山組、田口・原野組。



CMSC青森 7月27~28日

'96ツール・ド・東北

ネプタ嚙子が聞こえる7月27日、今年もJAF地方ラリー選手権B・C地区第6戦として'96ツール・ド・東北を開催しました。規定枠を超える申し込みを受け、選考された60台が岩木海洋センターに集合。CMSC群馬の船津選手、CMSC千葉の丹羽選手など、昨年同様多くのCMSC勢が参加、ラリーを盛り上げてくれました。

さて、ラリーはスタート場所を昨年まで使用した岩木山総合公園から岩木海洋センターへと移し、まだ明るい午後5時31分にスタート。第1ステージは例年と同じ岩木山周辺へ進みラリー区間とSSを終え、今年新しく設定した1ステ最終SSへと走り、給油後レスコン地点へ。約60分の休憩後SS主体の第2ステージへ。2ステ最後の第5SSは約8.5kmのヒルクライムへアタック。ここまでBクラス、ダントツのトップで走っていたCMSC群馬の船津選手。スタートする時

念入りな準備で迎えた開催



の気合いはすごかったが約1.4km先でエンジンストップで万事休す。来年に期待します。大きな事故も無く予定通り終了できました。

今回の開催にあたり、例年同様数ヶ月前からの準備や草刈り、安全対策にと何回もコースへ入り危



険箇所でのチェックやコース整備してくれたクラブ員には心から感謝します。ご支援、ご協力下さいました関係各位の皆様、ありがとうございました。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

CMSC青森 6月23日 8月11日

'96CMSCジムカーナin岩木

5月26日のシリーズ第1戦から約1ヶ月後の6月23日にシリーズ第2戦を開催しました。第1戦の参加台数が52台、第2戦が57台と徐々に台数も増え、主催者としてもやる気が出てきます。

そしてシリーズ最後の第3戦は8月11日に開催。なんと参加台数が84台と、当クラブが開催したジムカーナでは過去最高台数となりました。中には遠く仙台からの参加もあり、運営にあたるオフィシャルの面々は張り切り切りました。

会場の岩木山スキー場特設コースは前日からの練習走行も自由出来ることから、多くの選手が思い思いに足回りやタイヤの感触を確かめて

一戦毎に増えた参加台数

いました。前日の夜には選手有志による焼き肉パーティーも催される等、勝手に盛り上げてもらいました。

今年のシリーズ戦はクロズドクラスを併設して行いました。来年もクロズドクラスを設け、気軽に参加できるモータースポーツ入門篇として、地域におけるモータースポーツ活動を続けて行けるよう頑張りたいと思います。

最後にシリーズ3戦、毎回オフィシャルとして頑張ってくれたクラブの仲間と、協賛していただいた皆さんに感謝いたします。これからもジムカーナ発展の為によりしくご支援、ご協力お願いします。(CMSC青森 小館 久)



田口幸宏選手 CMSC 埼玉、全日本ラリーBクラス 5~7戦連覇でシリーズチャンプ確定!

'96全日本ラリー選手権第5戦「'96ノースアタックラリー」が、7月6~7日北海道勇払郡占冠村から夕張市にかけての約400kmのコースで行われました。距離の長い多彩なSS設定が特徴のコースでしたが、冷たい雨の降るあいにくのコンディションの中、過酷なラリーとなりました。今シーズン、新型ミラージュを擁するCMSC勢同士の激しい戦いが繰り広げられているBクラス。この大会もCMSC埼玉の田口幸宏選手、道北の鎌田卓麻選手、鹿児島県の原口真選手がデッドヒートを展開しましたが、田口選手が全てのステージをトップタイムで通過して圧勝しました。

第6戦「ひえつき'96夏」は7月20~21日宮崎県東臼杵郡椎葉村で開催されました。台風6号の影響で204kmあまりに短縮された荒れたコースを制したのは、第5戦に続いて埼玉の田口選手。

そして大詰めを迎えた第7戦、「'96HELOM RALLY MEETING」が福井県敦賀市で9月7~8日に開催されました。この大会でもCMSC勢同士の、互いに一歩も引かない激戦が繰り広げられました。前半やや出遅れた田口選手でしたが第3ステージで逆転。見事3連勝で今季4勝目を手にするとともに、道北の鎌田卓麻選手と争っていたチャンピオンの座を手中に収めました。



5~7戦を3連勝。今季4勝をあげ、シリーズチャンピオンを決定した田口選手と第6戦の走り。

CMSC秋田誕生、東北全県に支部が

この度、秋田三菱自動車販売(株)様のご協力のもと、コルトモーターススポーツクラブ21番目の支部としてCMSC秋田が皆様のお仲間に加えて頂く事になりました。準加盟クラブとしてスタートしましたので、当面はラリーを中心にジムカーナ、ダートトライアルへの参加が活動の中心になります。和気あいあいと

活発に参加しながら仲間を増やして行き、いずれは地区戦のラリーを開催できるようなクラブにしてゆきたいと思っております。

他の東北各県は歴史あるCMSCなので、同じCMSCの一員として恥ずかしく無い様に頑張りたいと思っております。これから活動して行くにあたって未熟な点は多々

あるかと思いますが、よろしくご指導の程お願いいたします。

(CMSC秋田 佐藤祐一)



会長の近藤隆行氏

このまま道北がつつ走ってしまうのか?



道北のリードがさらに広がっています。序盤の勢いがさらに増してポイントを重ねています。部門別で

は、ダートラをのぞいて変動がみられます。さあ、後半戦。みなさん、ラストスパートですね。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	833	1092			1925
大阪	609.5	526.5			1136
香川	495	472			967
群馬	468.5	452			920.5
青森	351	454			805
広島	254	523			777
福島	328	423			751
帯広	376	353			729
山形	311	220			531
浜松	286	224			510
岐阜	212.5	247			459.5
札幌	141	185			326
島根	103	181			284
鹿児島	119	110			229
埼玉	100	106			206
仙台	77	93.5			170.5
栃木	52	97			149
愛知	70	3			73
秋田	-	44			44
岩手	40	0			40
千葉	2	0			2

●ラリードライバー部門

選手	所属	ポイント
鎌田卓麻	道北	220
田口幸宏	埼玉	146
細村謙一	群馬	137
鎌田豊	道北	136
奴田原文雄	札幌	106
大沢克行	帯広	92
原口真	鹿児島	91
小林康弘	帯広	81
杉山聡	道北	50
嶋口中也	青森	40

●ラリーナビゲーター部門

選手	所属	ポイント
細村祐子	群馬	137
川村知恵	道北	64
伊吹浩明	帯広	60
朝岡達也	愛知	60
遠藤昇	仙台	29.5
対馬隆志	青森	26
生井重男	帯広	25
野村佐江子	広島	21
中村洋次	帯広	20
伴英憲	青森	20

●ダートトライアル部門

選手	所属	ポイント
秋間忠之	大阪	582
小出久美子	大阪	401
高竹優之	香川	294
三浦正博	道北	266
森新次	香川	206
平原和幸	広島	197
宝田芳浩	札幌	195
三枝光博	岐阜	178
岩根つもる	広島	158
白井修	香川	157

●ジムカーナ部門

選手	所属	ポイント
久保田明	青森	266
山下亘	道北	246
須田行雄	福島	245
丹羽裕一	道北	236
小館久	青森	224
大久保法世	道北	192
大泉剛	福島	124
平山敦朗	浜松	113
小寺久美	道北	110
三崎朋弘	帯広	110

●レース部門

選手	所属	ポイント
高橋滋	仙台	118
小川日出生	山形	102
笠原昌二	山形	76
川口法行	栃木	24
吉沼昭彦	栃木	24
内堀篤史	栃木	24

●ポイントのつけ方

ポイント	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)

但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル

ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ

レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む

B = それ以外の競技会